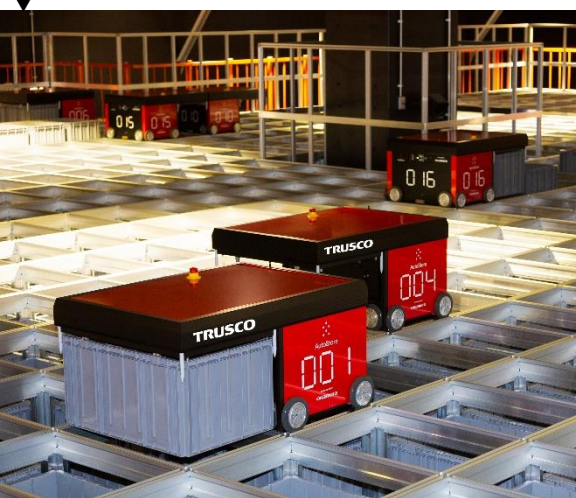


第57期 決算データ分析資料

令和元年(2019)12月期

10月 プラネット埼玉 Butler(バトラー)・AutoStore(オートストア)稼働

ロボット 16台
 収納ビン(コテナ) 7,930ビン
 ピッキング能力 600件/h(入出庫口5か所)



▲ ロボット 73台
 専用棚 1,380台
 ピッキング能力 420件/h(入出庫口6か所)

トラスコ中山株式会社

令和2年(2020)2月10日発表

経営企画部長 兼 経理部長 中山 達也
 経営企画・広報IR課長 片桐 武志
 経営企画・広報IR課 吉見 今日子
 経営企画・広報IR課 平野 みのり

〒105-0004
 東京都港区新橋四丁目28番1号
 トラスコ フィオリートビル10F
 TEL: 03-3433-9840 FAX: 03-3433-9881
 E-mail: info@trusco.co.jp

一 資料目次 一

第57期 令和元年(2019)12月期

■トラスコ中山について

P3 連結決算開始のご報告

P4 【連結】会社概要

A■全社経営実績

P5 ①経営成績

P6 ②【親単体】令和元年(2019)12月期
全社月次売上高推移／1日当たり売上高

B■販売実績

P7 ①【親単体】販売セグメント別売上高・売上総利益

P8 ②【親単体】販売セグメント別月次推移表

P9 ③【親単体】ファクトリールート ブロック別売上高・
構成比・業種別売上高

P10 ④【親単体】eビジネスルート売上高推移・
オレンジコマース連携数推移

P11 ⑤【親単体】ホームセンタールート得意先
上位10社取引高

P12 ⑥海外子会社の経営成績

P13 ⑦【親単体】商品分類別売上実績

P14 ⑧【親単体】トラスコ オレンジブック掲載カテゴリ別実績

P15 ⑨【親単体】プライベート・ブランド(PB)商品
売上実績

C■取組み状況

P16 ①仕入先数推移及び新規掲載商品売上高／
在庫アイテム数及びヒット率／販売口座数の推移

P17 ②【親単体】システム稼働状況

P18 ③【親単体】物流データ

D■財務等実績

P19 ①【連結】財務諸表

P20 ②販売費・一般管理費の主な増減内容

P21 ③販売費・一般管理費

P22 ④【連結】設備投資等の状況

P23 ⑤令和元年(2019)度継続中の主な設備投資

E■今期以降の計画

P24 ①経営計画

■参考資料■

P25 ①【親単体】令和2年(2020)販売費・
一般管理費の主な増加要因

P26 ②株式情報

P27 ③業界での指数比較

P28 ④【連結】四半期毎の実績・予算

P29 ⑤【親単体】四半期毎の実績-令和元年(2019)12月期

P30 ⑥【連結】四半期毎の予算-令和 2年(2020)12月期

P31 ⑦会社データ

P32 ⑧当社売上高指数・鉱工業生産指数

P33 ⑨第57期第4四半期トピックス

【連結決算開始のご報告】

当期、第57期-令和元年(2019)12月期第1四半期より、平成22年(2010)2月に設立したトラスコナカヤマ タイランドと、平成26年(2014)12月に設立したトラスコナカヤマ インドネシアの重要性が増したため、連結決算を開始いたしました。

当第1四半期連結会計期間より四半期連結財務諸表を作成しているため、前年同四半期の数値等との比較分析は記載しておりません。

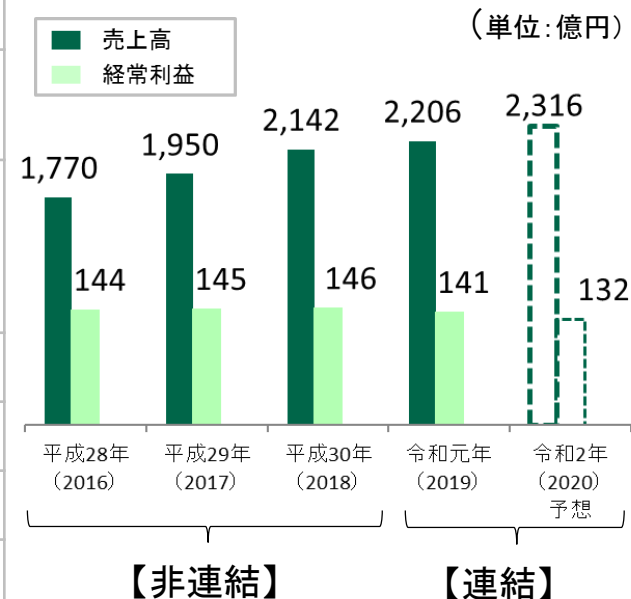
また、連結決算に伴い、新たなセグメント(販売ルート)として「海外ルート」を追加いたします。連結子会社の業績及び海外部の諸外国向け売上高は今後「海外ルート」に含まれます。

【連結】会社概要

令和元年(2019)12月末現在

創業	昭和34年(1959)5月15日
代表者	代表取締役社長 中山 哲也 全日本機械工具商連合会 副会長 大阪機械器具卸商協同組合 理事長
本社事務所	東京本社(東京都港区・本店登記) 大阪本社(大阪市西区)
拠点数	計100か所 国内97か所: 本社2か所、支店69か所、物流センター26か所 海外3か所: 現地法人: タイランド、インドネシア/ 駐在所: ドイツ(デュッセルドルフ)
資本金	50億2,237万円
証券取引所	東証一部(証券コード: 9830)
従業員数	2,796名(役員12名、社員1,656名、パート1,128名)
格付状況	A (株式会社格付投資情報センター)
事業内容	機械工具、物流機器、環境安全用品をはじめとしたプロツール (工場用副資材)の卸売業及び自社ブランドTRUSCOの企画開発

➤売上高・経常利益の推進



ビジネスフロー

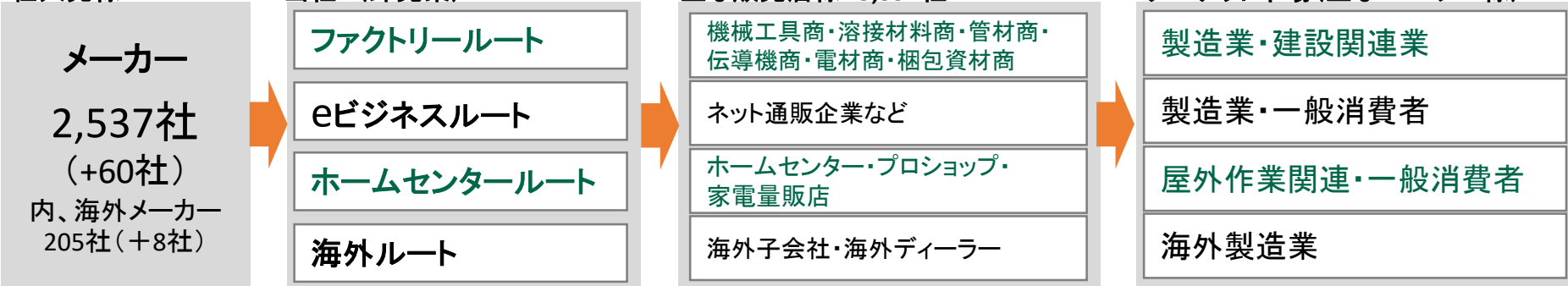
仕入先様

() 前年比

当社 (卸売業)

主な販売店様 5,592社

ターゲット市場(主なユーザー様)



A-① 経営成績

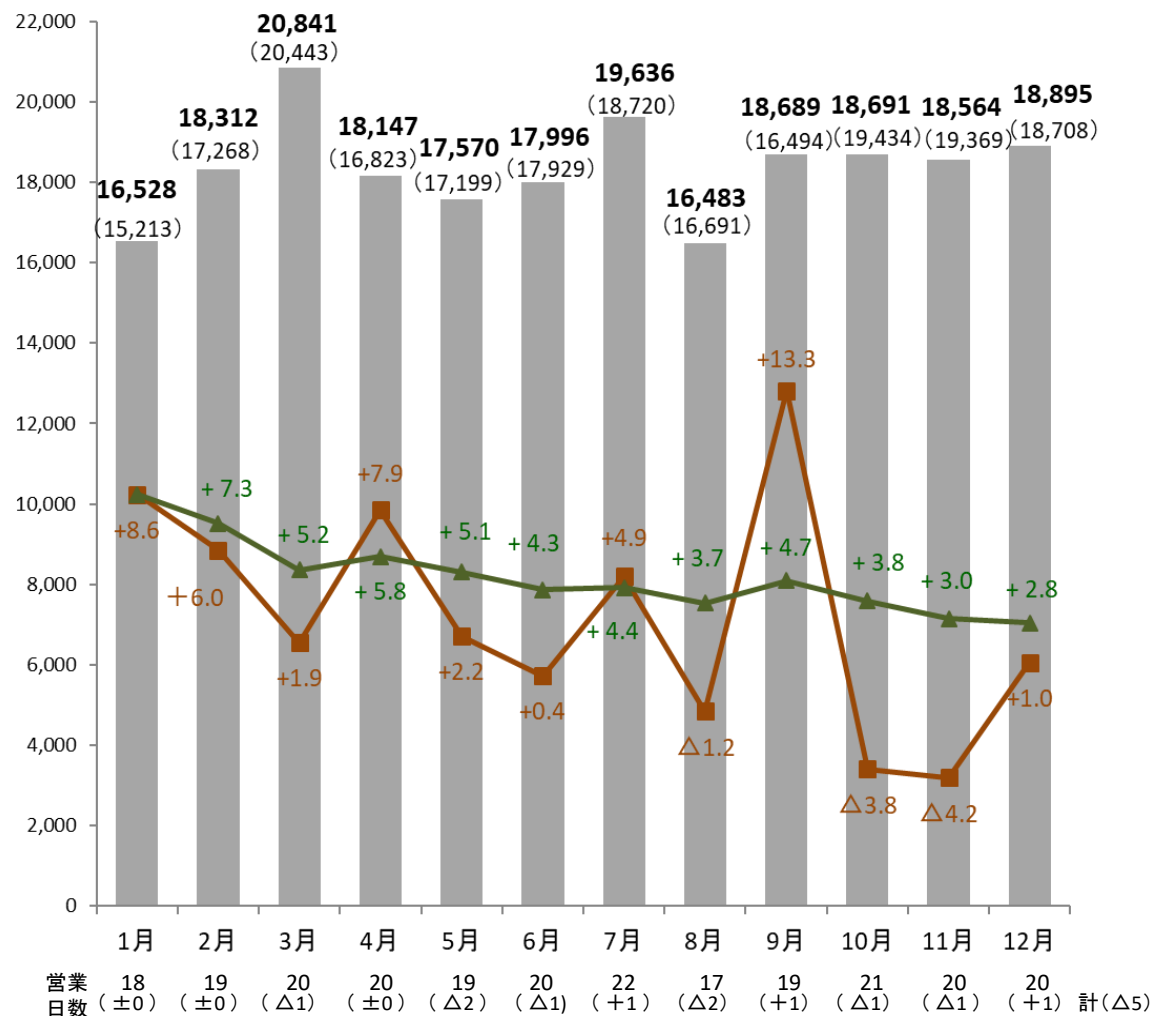
・親単体の売上高 : 前年比+2.8%、予算比は△2.3%。営業日数は前年より5日少ない。
・親単体の売上総利益率 : 21.3% 前年比+0.1pt 要因は下記①②によるもの。
①トラスコ オレンジブックの販売価格の値上げにより、カタログ購入支援引当金が減少。(△2億円)
②粗利率の高いPB商品は設備関連商品の需要減少により構成比が低下(△0.4pt)ではあったものの、売上高比率の高いNB商品の粗利率は上昇(+0.2pt)
・親単体の販管費 : 物流機能強化の為の積極的な設備投資による減価償却費の増加、出荷個数増加や運賃値上げによる運賃荷造費の増加等が主要因。(販管費詳細はP.20~21参照)

	【親単体】						【連結】			
	令和元年（2019）12月期						平成30年（2018）12月期		令和元年（2019）12月期	
	実績	率（%）	前年比（%）	予算【率（%）】	予算差額（百万円）	予算比（%）	実績	率（%）	実績	率（%）
売上高	2,203億57百万円	—	2.8	2,256億00百万円	△5,242	△2.3	2,142億97百万円	—	2,206億74百万円	—
売上総利益	468億56百万円	21.3	3	479億50万円【21.3】	△1,093	△2.3	454億91百万円	21.2	470億34百万円	21.3
販売費及び一般管理費	329億34百万円	14.9	5.8	337億00百万円【14.9】 販管費詳細 P.20~P.21	△765	△2.3	311億27百万円	14.5	332億37百万円	15.1
営業利益	139億21百万円	6.3	△3.1	142億50百万円【6.3】	△328	△2.3	143億64百万円	6.7	137億97百万円	6.3
経常利益	143億02百万円	6.5	△2.3	145億00百万円【6.4】	△197	△1.4	146億42百万円	6.8	141億97百万円	6.4
当期純利益	97億15百万円	4.4	△0.1	97億50百万円【4.3】	△34	△0.4	97億22百万円	4.5	96億13百万円	4.4
PB売上高	438億90百万円	19.9	0.7	454億00百万円【20.1】 PB商品詳細 P.15	△1,509	△3.3	435億96百万円	20.3	—	—
1株当たり当期純利益	147円32銭	—	△12銭	147円85銭	△53銭	—	147円44銭	—	145円78銭	—
1株当たり年間配当金	—	—	—	—	—	—	37円00銭	—	36円50銭	—

A-②【親単体】令和元年(2019)12月期 全社月次売上高推移/1日当たり売上高

■全社合計

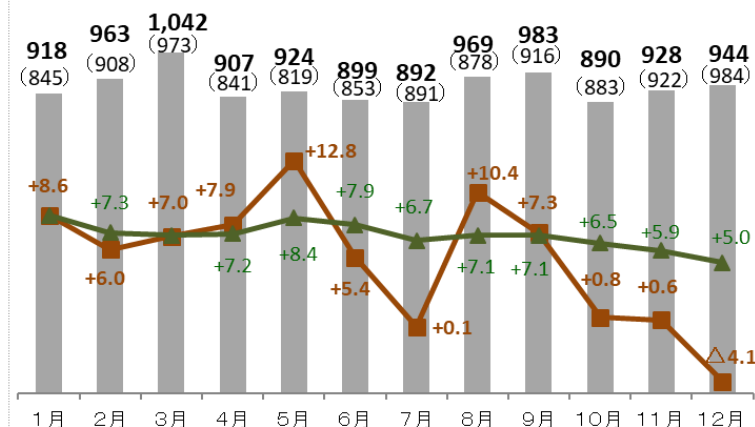
■ 単月売上高(百万円)
 ■ 前年同月比(%)
 ▲ 累計前期比(%)
 () 前年同月売上高



■全社1日当たり平均売上高推移

製造現場で使用されている消耗品は日々コンスタントに注文されるため、当社は1日当たりの売上高で前年との比較を行っております。
 また、企業の決算月である3月・12月は売上高が大きい繁忙期となっています。

■ 営業日1日当たり平均売上高(百万円)
 ■ 前年比(%)
 ▲ 累計前年比(%)
 () 前年同月1日当たり売上高(百万円)



B-① 【親単体】販売セグメント別売上高・売上総利益

■販売セグメント別売上高

販売ルート	平成30年(2018)12月期			令和元年(2019)12月期							
	売上高		売上総利益率	売上高			売上総利益率		売上高		
	実績	構成比	実績	実績	構成比	前年比	実績	前年比	予算	予算比	
ファクトリールート	1,691億22百万円	78.9%	20.8%	1,700億25百万円	77.2%	+0.5%	20.8%	±0	1,748億00百万円	△2.7%	
eビジネスルート	307億45百万円	14.3%	25.2%	344億92百万円	15.7%	+12.2%	25.1%	△0.1	353億00百万円	△2.3%	
ホームセンタールート	134億66百万円	6.3%	17.9%	147億02百万円	6.7%	+9.2%	17.5%	△0.4	144億00百万円	+2.1%	
海外ルート	9億63百万円	0.5%	20.2%	11億37百万円	0.4%	+18.0%	20.3%	+ 0.1	11億00百万円	+3.4%	
全社合計	2,142億97百万円	100%	21.2%	2,203億57百万円	100%	+2.8%	21.3%	+ 0.1	2,256億00百万円	△2.3%	

■ファクトリールート 前年同期比+0.5%

設備投資の減速など景況感の影響を受け売上高の伸びは鈍化しています。

主に大手製造業へ販売されている機械工具商ルートの 売上高の伸びが鈍化しています。(9ページ参照)

■eビジネスルート 前年同期比+12.2%

内訳は、通販企業向けが前年同期比+12.7%、電子購買向けが前年同期比+10.5%です。(10ページ参照)

一部の通販企業様において景況感の影響により売上の減速がみられるものの、通販企業各社と当社との物流・システム連携の取り組みは引き続き順調に進んでおり、変わらず売上高は拡大傾向にあります。

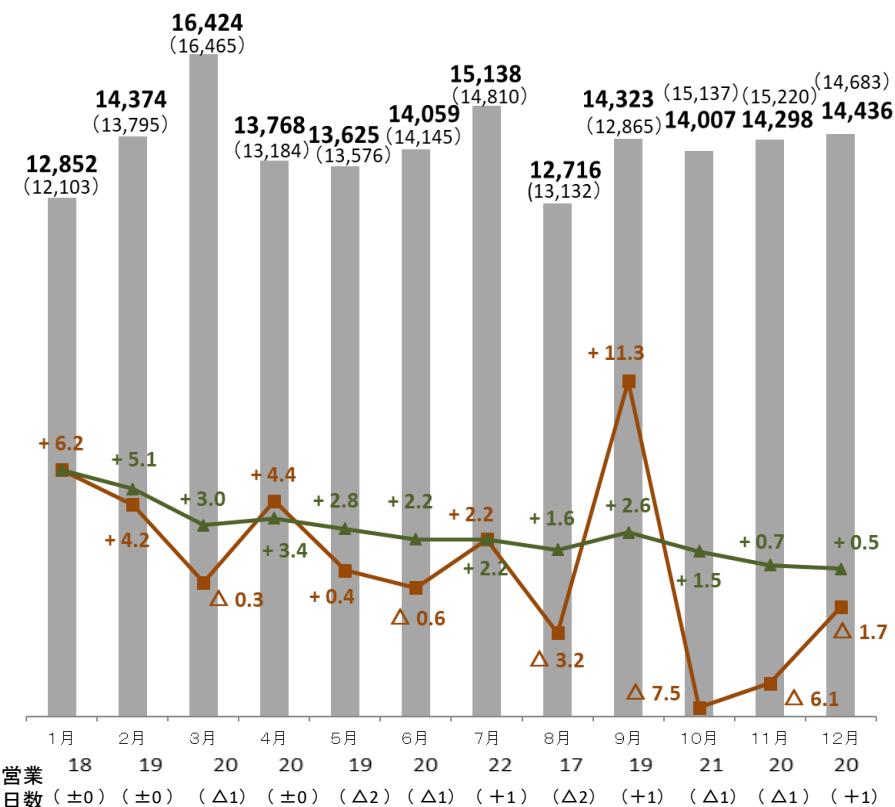
■ホームセンタールート 前年同期比+9.2%

プロショップへの売上高拡大は継続しており、またホームセンター様とも取り組みを強化しております。(11ページ参照)

B-② 【親単体】販売セグメント別月次推移表

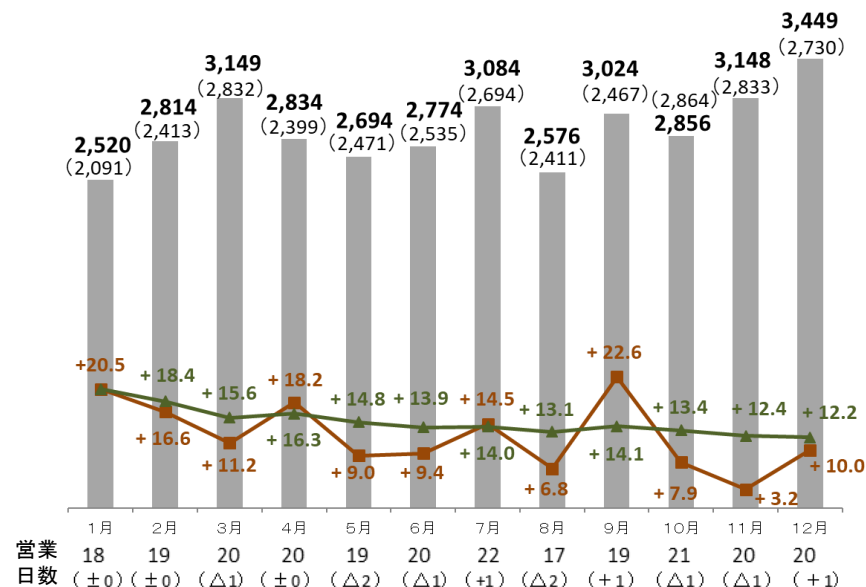
■ファクトリールート月次推移表

売上高(百万円)
単月前年比(%)
累計前年比(%)
() 前年同月売上高



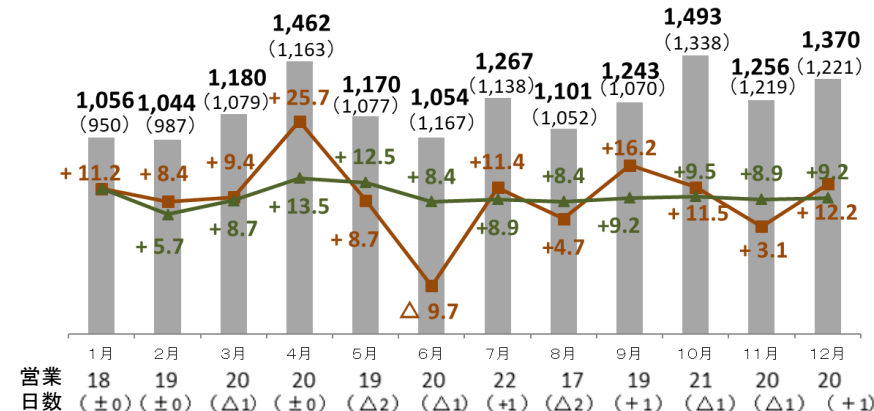
■eビジネスルート月次推移表

売上高(百万円)
単月前年比(%)
累計前年比(%)
() 前年同月売上高



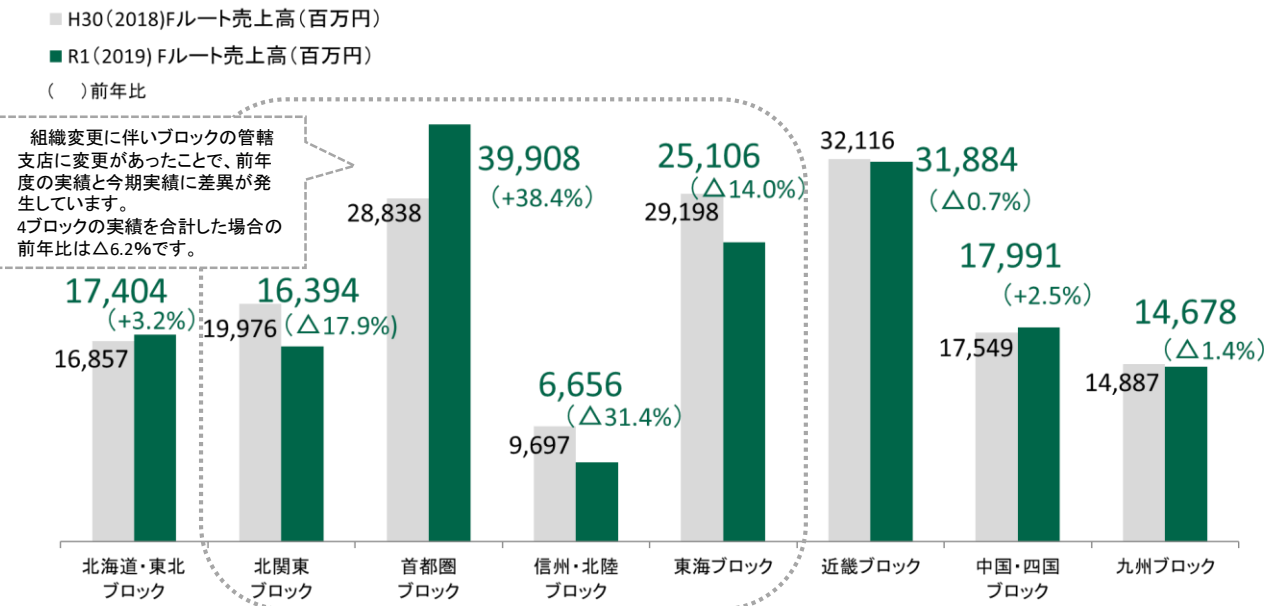
■ホームセンタールート月次推移表

売上高(百万円)
単月前年比(%)
累計前年比(%)
() 前年同月売上高

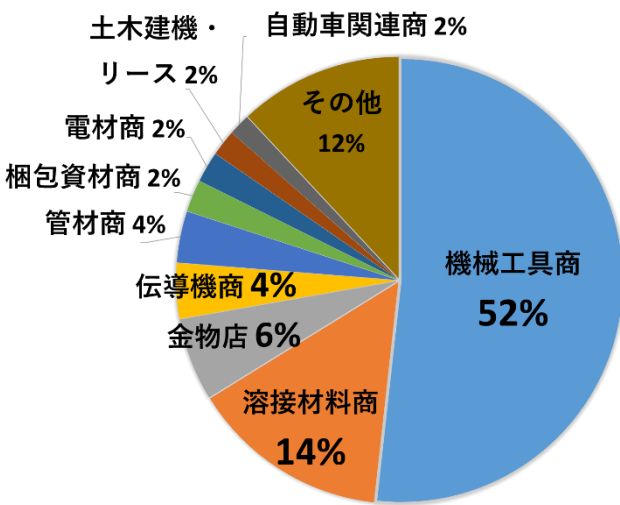


B-③ 【親単体】ファクトリールート ブロック別売上高・構成比・業種別売上高

■ファクトリールートブロック別売上高



■ファクトリールート業種別売上高構成比



■ファクトリールート業種別売上高

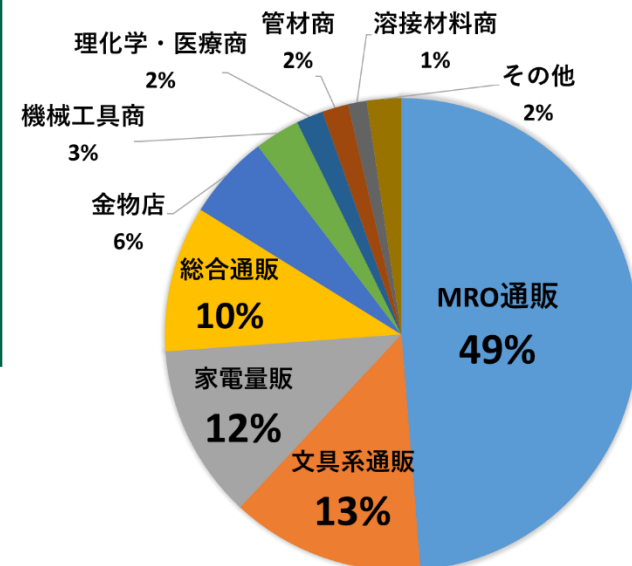
販売ルート	平成30年(2018)12月期			令和元年(2019)12月期						
	売上高		売上総利益率	売上高			売上総利益率		売上高	
	実績	構成比		実績	構成比	前年比	実績	前年比	予算	予算比
機械工具商	896億78百万円	53.0%	20.6%	880億51百万円	51.8%	△1.8%	20.6%	±0	918億82百万円	△4.2%
溶接材料商	243億43百万円	14.4%	21.2%	245億43百万円	14.4%	+0.8%	21.2%	±0	250億49百万円	△2.0%
その他製造業関連 (理化学・伝導機・梱包材商など)	270億11百万円	16.0%	20.4%	274億52百万円	16.1%	+1.6%	20.5%	+ 0.1	278億72百万円	△1.5%
建設関連	280億88百万円	16.6%	21.4%	299億77百万円	17.6%	+6.7%	21.4%	±0	299億96百万円	△0.1%
ファクトリールート合計	1,691億22百万円	100.0%	20.8%	1,700億25百万円	100.0%	+0.5%	20.8%	±0	1,748億00百万円	△2.7%

B-④ 【親単体】eビジネスルート売上高推移・オレンジコマース連携数推移

■eビジネスルート売上高

販売ルート	平成30年(2018)12月期		令和元年(2019)12月期				
	売上高		売上高			売上総利益率	
	実績	構成比	実績	構成比	前年比	実績	前年比
通販企業向け	234億69百万円	76.3%	264億52百万円	76.7%	+12.7%	24.5%	+0.1
オレンジコマース 連携企業向け電子購買	72億75百万円	23.7%	80億40百万円	23.3%	+10.5%	27.2%	△0.4
eビジネスルート合計	307億45百万円	100.0%	344億92百万円	100.0%	+12.2%	25.1%	△0.1

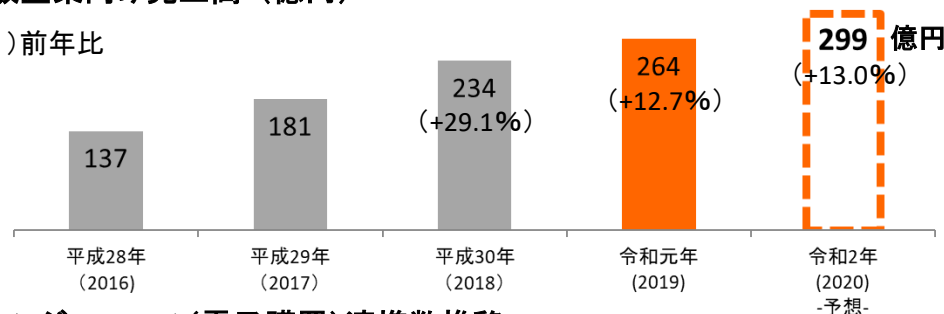
■ 通販企業向け売上高 業種別売上高比率



業種の見直しを行ったため、前年度の実績と差異がございます。

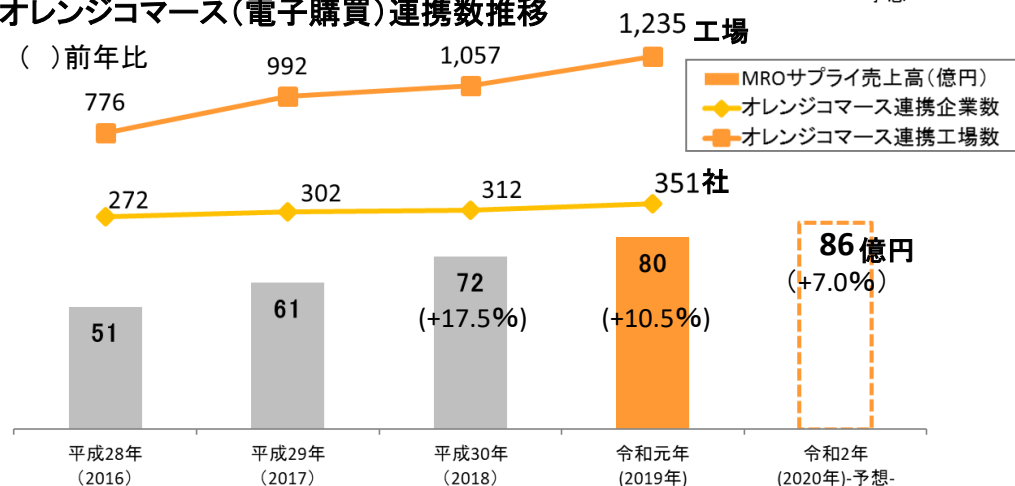
■ 通販企業向け売上高 (億円)

() 前年比



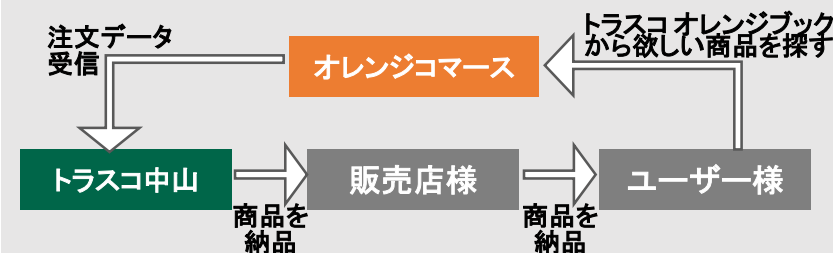
■ オレンジコマース(電子購買)連携数推移

() 前年比



■ 電子購買とは

ユーザー様が仕入原価の低減や業務の効率化を目的として、購買の一連の流れをインターネット(システム)を利用して管理する方式。大手ユーザー様を中心に利用されています。



ユーザー様の購買システムとトラスコ中山のシステムを連携し物流は販売店様との三者間で行います。

B-⑤ 【親単体】ホームセンタールート得意先上位10社 取引高

プロツールの卸売業として、当社が得意とするプロツールの販売に特化し、ホームセンター各社にプロツール売場の提案を積極的に行っています。今後は、プロショップ・資材館のあるホームセンターとの取組を強化し、当社総合力をもって商品販売を行っていきます。

■ホームセンター得意先別売上高

単位: 百万円、%

順位	得意先名	平成30年 (2018)12月期	令和元年 (2019)12月期	前年比
1	DCM ホダカ(株)(プロショップ)	1,750	1,956	+ 11.8
2	(株)ナフコ	1,595	1,569	△ 1.6
3	ロイヤルHC(株)	1,294	1,322	+ 2.1
4	コーナン商事(株)	1,144	1,270	+ 11.0
5	DCMカーマ(株)	1,156	1,181	+ 2.2
6	DCMホームマック(株)	1,163	1,149	△ 1.2
7	(株)カインズ	305	1,146	+ 275.5
8	(株)島忠	736	897	+ 21.8
9	(株)コメリ	560	583	+ 4.2
10	DCMダイキ(株)	590	553	△ 6.3
10社合計		11,288	12,541	+ 11.1
HCルート売上合計		13,466	14,702	+ 9.2
10社のルート売上占有率		83.8	85.3	

ホームセンターは、ネットと店舗を融合させ、来店客へのサービスを向上させるという取組をされている中で当社の取扱いアイテムと在庫により、取組が強化されたため、売り上げが増加しています。

■DCM ホールディングスへの売上高
 合計: 5,391 百万円 (前年比+1.2%)
 (DCMカーマ(株)、DCMダイキ(株)、DCMホームマック(株)、DCMサンワ(株)、DCMくろがねや(株)、(株)ケーヨー、ホダカ(株)、(株)ホームマックニcott)

■プロショップ向けの売上高
 合計: 2,137百万円 (前年比: +10.0%)
 プロの職人さんや工員さんが使用する工具などに特化して商品を販売している店舗をプロショップと呼んでいます。
 当社の取扱商品と親和性が高く、売上高が伸びている販売先です。

各企業名の敬称を省略しております。

経営企画・広報IR課にて作成した参考値です。

B-⑥ 海外子会社の経営成績

トラスコナカヤマタイランド 2010年9月設立
トラスコナカヤマインドネシア 2014年12月設立

海外子会社の累計実績

単位: 百万円、%

		売上高	売上 総利益	販売費及び 一般管理費	営業利益	経常利益	当期(四半期) 純利益
トラスコナカヤマ タイランド 1バーツ=3.63円 (前年3.41円)	実績	752	180	157	22	23	23
	率	-	24.0	21.0	3.0	3.2	3.2
	前年比	+13.3	+25.6	+19.8	+89.0	+84.0	+84.0
トラスコナカヤマ インドネシア 1ルピア=0.0079円 (前年0.0076円)	実績	259	64	144	△80	△83	△83
	率	-	24.7	55.7	-	-	-
	前年比	+2.7	+10.6	+45.8	-	-	-

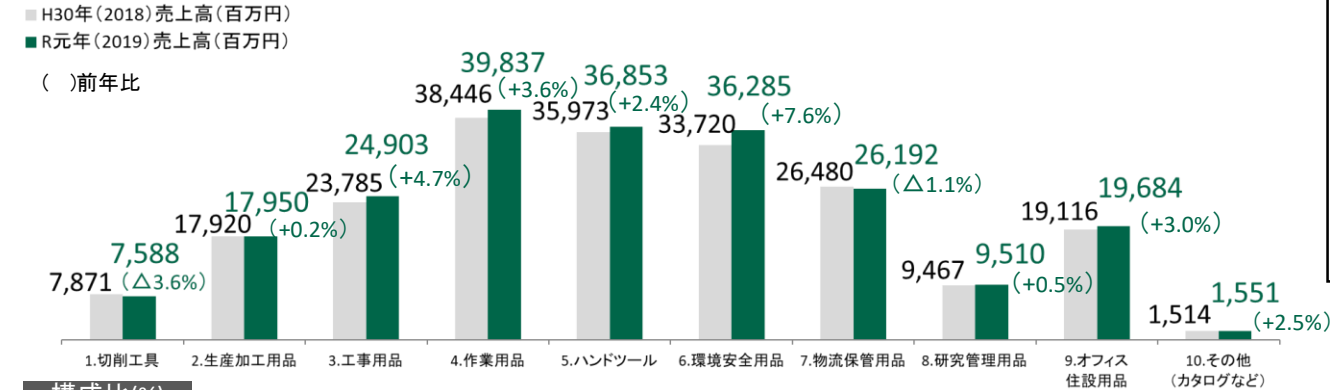
【トピックス】平成31年(2019)3月9日
トラスコナカヤマ インドネシア新拠点 竣工



住所 : 西ジャワ州ブカシ県チカラン地区
ジャヤムクティ区ケナリラヤ通り36番 ZIPコード17815
敷地面積 : 16,178㎡(4,894坪)
延床面積 : 10,429㎡(3,155坪)
設備投資額 : 土地11.3億円／建物6.4億円
設計／施工 : 株式会社竹中工務店
従業員 : 19名(内トラスコ中山株式会社出向社員3名)
在庫アイテム数 : 59,653アイテム(2019年12月末時点)

B-⑦ 【親単体】商品分類別 売上実績

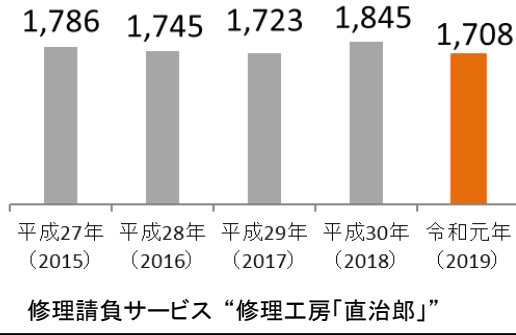
■大分類別売上高グラフと中分類内訳



■構成比(%)

商品分類(大分類)	中分類	全社売上高	構成比	前年比	粗利率	商品分類(大分類)	中分類	全社売上高	構成比	前年比	粗利率
1.切削工具	① 切削工具	3,553	1.6	△7.5	10.3	6.環境安全用品	②5 保護具	18,146	8.2	+10.9	25.2
	② 穴あけ・ネジきり工具	4,034	1.8	+0.1	22.4		②6 安全用品	9,202	4.2	+3.4	26.4
	3.4						②7 環境改善用品	1,985	0.9	△2.7	20.2
2.生産加工用品	③ 測定計測	8,947	4.1	+2.0	16.5		②8 冷暖房用品	4,211	1.9	+12.0	16.5
	④ メカトロニクス	3,692	1.7	+2.2	15.6		②9 防災・防犯用品	904	0.4	+3.2	21.5
	⑤ 工作機工具	2,502	1.1	△3.6	21.7		③0 物置・エクステリア用品	1,834	0.8	+2.7	16.0
3.工事用品	⑥ 電動機械	2,806	1.3	△4.4	10.3	7.物流保管用品	③1 荷役用品	3,665	3.3	+4.6	17.7
	⑦ 油圧工具	1,961	0.9	+2.9	11.8		③2 コンベヤ	1,282	0.6	△6.2	16.3
	⑧ ポンプ	3,335	1.5	△4.8	16.0		③3 運搬用品	10,066	4.6	△3.0	22.3
4.作業用品	⑨ 溶接用品	1,997	0.9	+0.6	18.8	8.研究管理用品	③4 コンテナ・容器	3,694	1.7	△2.1	31.1
	⑩ 塗装・内装用品	2,277	1.0	+5.7	24.9		③5 スチール棚	3,800	1.7	△3.5	26.8
	⑪ 土木建築	2,157	1.0	+19.7	13.0		③6 ツールワゴン	1,052	0.5	△7.8	29.6
5.ハンドツール	⑫ はしご・脚立	3,222	1.5	+4.5	22.8	9.オフィス住設用品	③7 保管・管理用品	1,357	0.6	+0.4	32.0
	⑬ 配管・電設資材	3,449	1.6	+7.8	23.4		③8 作業台	1,469	0.7	△4.6	28.0
	⑭ 部品・金物・建築資材	6,501	3.0	+5.8	28.3		③9 ステンレス用品	1,953	0.9	+0.8	18.6
	⑮ 切断用品	1,370	0.6	+7.0	23.0	10.その他	④0 研究開発関連用品	3,678	1.7	+5.2	18.0
	⑯ 研削・研磨用品	7,289	3.3	+1.6	23.5		④1 清掃用品	5,852	2.7	+1.5	22.2
	⑰ 化学製品	9,383	8.9	+6.4	22.6		④2 文具用品	1,874	0.9	+13.5	19.3
	⑱ 工場雑貨	3,525	1.6	△0.3	15.8		④3 オフィス雑貨	2,547	1.2	+9.9	28.9
	⑲ 梱包結束用品	5,217	2.4	+2.5	31.2		④4 電化製品	3,559	1.6	+0.0	23.7
	⑳ キャスター	2,863	1.3	△3.3	18.4		④5 OA事務用機器	1,619	0.7	+6.1	27.5
	㉑ 電動工具・用品	10,042	4.6	+1.2	14.7		④6 事務用家具	3,949	1.8	△1.8	24.9
	㉒ 空圧工具用品	3,353	3.0	+0.7	18.2		④7 インテリア用品	281	0.1	+2.8	20.6
	㉓ 手作業工具	9,315	8.3	+3.5	21.5		④8 全体	1,551	0.7	+2.5	-
	㉔ 工具箱	1,811	0.8	+5.3	30.5		④9 合計	220,357	100.0	+2.8	21.3

■修理品売上高(百万円)



B-⑨ 【親単体】プライベート・ブランド(PB)商品 売上実績

■PB分類別売上高の主な内訳

※その他ルートは除く

単位：百万円

	全体		ファクトリー		eビジネス		ホームセンター	
	構成比	19.9%	構成比	19.8%	構成比	25.7%	構成比	6.4%
	粗利率	35.8%	粗利率	35.8%	粗利率	36.6%	粗利率	29.9%
	売上高	前年比	売上高	前年比	売上高	前年比	売上高	前年比
合計	43,890	+0.7%	33,739	△1.3%	8,875	+8.9%	944	+1.7%
切削工具	712	+3.4%	522	+1.5%	110	+8.2%	66	+7.4%
生産加工用品	1,567	+3.4%	1,185	+1.4%	336	+12.3%	19	△10.4%
工事用品	3,607	+2.1%	2,731	+0.2%	796	+11.5%	57	△8.2%
作業用品	7,706	+0.6%	6,271	△0.9%	1,304	+8.3%	75	△2.6%
ハンドツール	4,549	△0.6%	3,397	△2.2%	954	+6.4%	131	△5.0%
環境安全用品	7,338	+3.8%	5,820	+2.1%	1,382	+10.6%	108	+5.3%
物流保管用品	10,699	△1.5%	7,976	△3.8%	2,222	+7.3%	437	△0.9%
研究管理用品	3,550	△2.8%	2,828	△4.3%	682	+2.5%	2	-
オフィス住設用品	4,156	+3.0%	3,006	△1.0%	1,085	+15.1%	42	+173.0%
その他	3	△13.4%	0	-	0	-	3	-

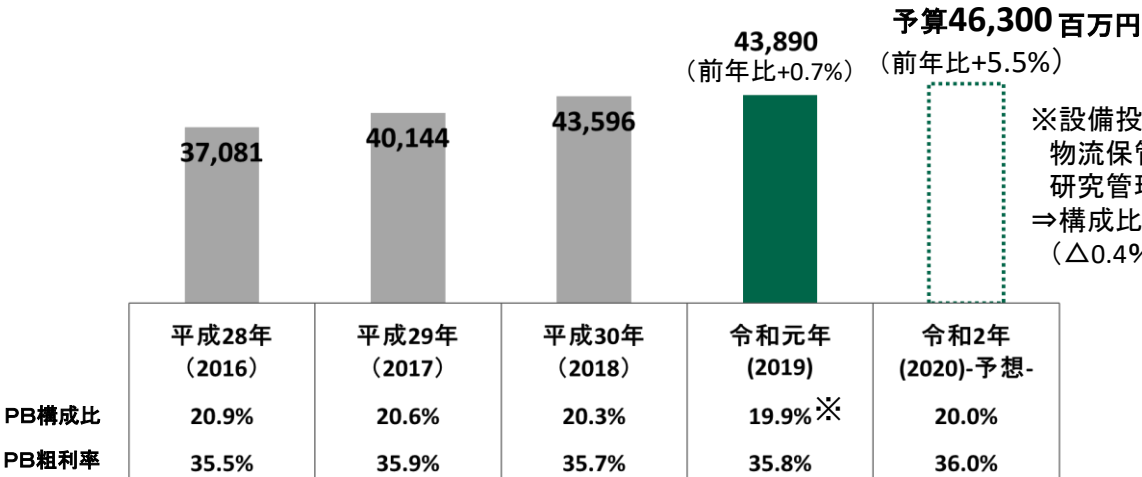
■プライベート・ブランド(PB)商品



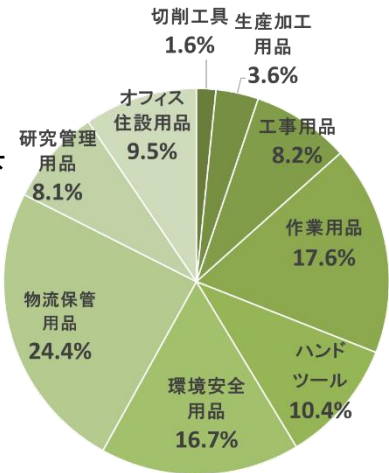
年間約5,000アイテムの新規商品を投入している自社企画開発商品。ナショナル・ブランド商品に比べ利益率が高く、売上高構成比は19.9%を占めています。



■PB商品 売上高推移 単位：百万円

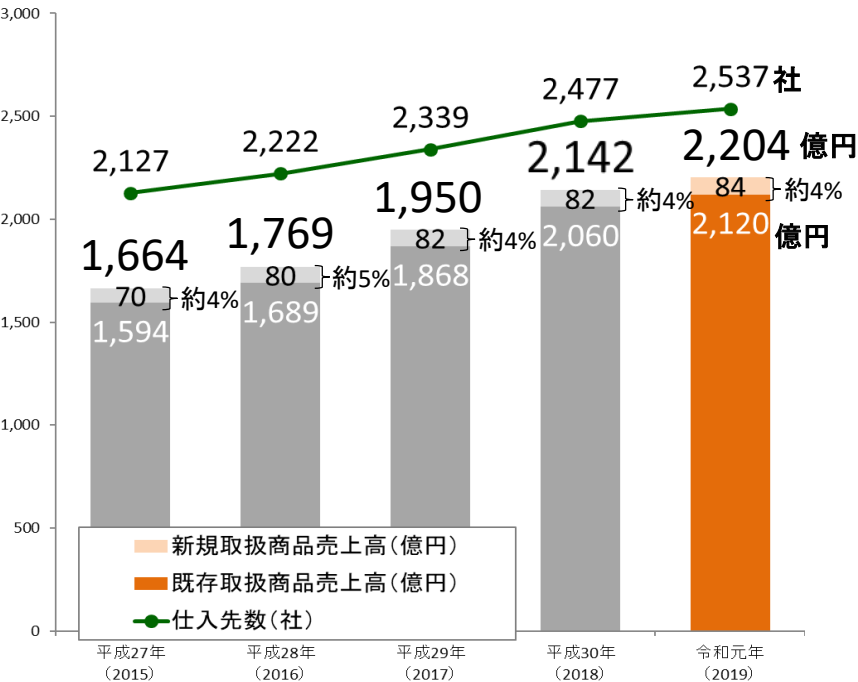


■PB売上構成比

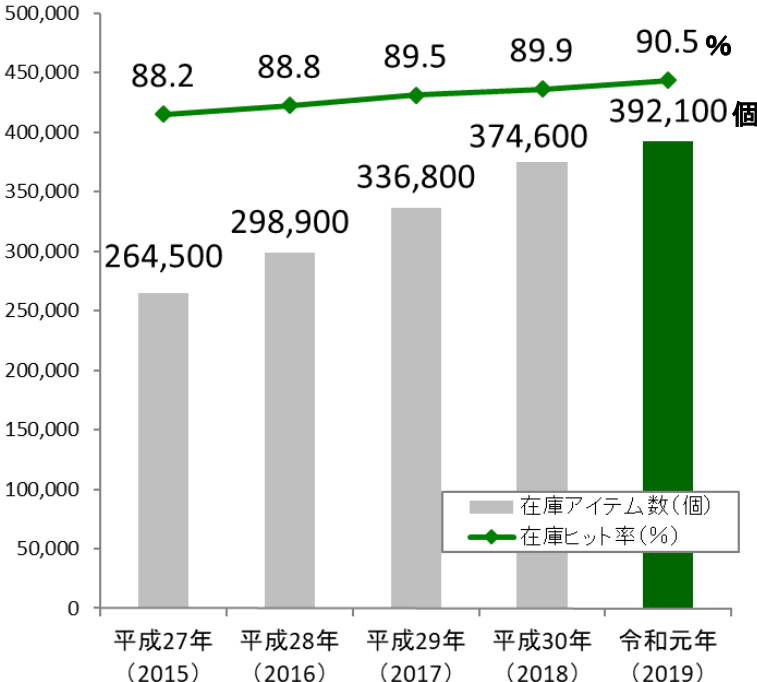


C-① 仕入先数推移及び新規掲載商品売上高／在庫アイテム数及びヒット率／販売口座数の推移

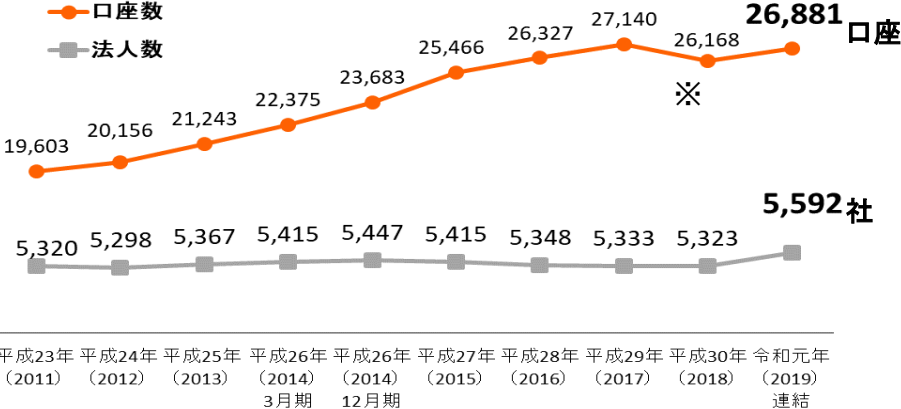
1、【親単体】仕入先数の推移及び全社売上高における
トラスコ オレンジブック新規取扱商品 売上高推移



2、【親単体】在庫アイテム数及び在庫ヒット率の推移



3、【連結】販売口座数の推移



1、売上高のうち4%程度は、その年に商品カタログ「トラスコ オレンジブック」へ新規掲載された商品の売上高で構成されています。

2、在庫ヒット率＝在庫から出荷した商品の行数÷全注文行数
当初の目標であった90%を達成しました。

3、令和元年(2019)より海外子会社を含む法人数・口座数を掲載。
多店舗を持つ法人とのお取引が増加しているため、口座数は増加傾向にあります。

※平成30年(2018)の口座数減少は、ホームセンタールート
取引先の取引終了による口座抹消が主な要因です。

C-② 【親単体】システム稼働状況

Ⅰ①システム受注(FAX-OCR含む)実績

【ご参考】令和元年(2019)累計 照会行数:ドットクル約504件/日、WEBフリーアクセス約64,380件/日

受注実績	受注行数 (行)	行数占有率	占有率 前年比	受注金額 (百万円)	金額占有率	占有率 前年比
トラスコ オレンジブック.Com (販売店様、ユーザー様用)インターネット受発注	14,469,411	42.6%	+1.6	92,160	41.8%	+2.8
トラスコEDI 販売店様発注システムとのデータ連携	5,798,154	17.1%	+12.9	23,629	10.7%	+14.3
オレンジコマース ユーザー様購買システムとの連携	647,881	1.9%	+35.3	3,979	1.8%	+32.7
DOTKUL (ドットクル) FAX-OCR	359,896	1.1%	※ △20.6	1,716	0.8%	※ △38.8
EOS ホームセンター電子発注システム	6,931,318	20.4%	+7.2	13,533	6.1%	+12.6
計	28,206,660	83.1%	+5.2	135,019	61.3%	+5.9

※FAX-OCR DOTKUL(ドットクル)は利用率の低下により
2023年5月にサービスを終了する予定です。

C-③ 【親単体】物流データ

■配達便・社内間配送便 台数

	台数	前年比
総配達便数	273台	△20台
傭車便(契約配達便)	175台	△29台
自社配達便	98台	+9台
社内間配送便	35台	△5台
配達便・社内間輸送便 計	308台	△25台

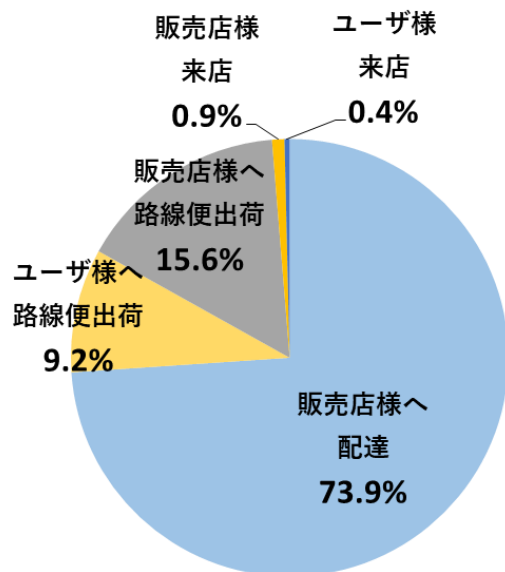
配達便について

積載量や配送ルートを効率化することで配達便・社内間配送便の減便をすすめ、台数の適正化を図っています。

また、お客様へのサービス向上を目指し、自社配達便(当社社員による配達便)の台数を増やしています。現在の自社便化率は35.9%、今後は自社便化率50%まで高めることを目標としています。

■納品区分の実績

【受注行数ベース】



D-① 【連結】財務諸表

…当期より連結決算開始の為、前年との数値等の比較は記載しておりません。

■セグメント情報等

当連結会計年度(平成31年(2019)1月1日～令和元年(2019)12月31日)

単位:百万円、%

			売上高	経常利益又は 損失(△)
報告 セグメント	ファクトリー ルート	実績	170,041	10,932
		前年同期比	－	－
	eビジネス ルート	実績	34,492	3,155
		前年同期比	－	－
	ホームセンター ルート	実績	14,703	64
		前年同期比	－	－
	海外ルート	実績	1,437	△234
		前年同期比	－	－
計	実績	220,674	13,917	
	前年同期比	－	－	
調整額			－	280
連結財務諸表計上額		実績	220,674	14,197
		前年同期比	－	－

経常利益の調整額280百万円は、賃貸物件の賃貸収入等、各報告セグメントに帰属しない利益が含まれています。

■貸借対照表

令和元年(2019)12月31日現在
単位:百万円、%

資産	負債・純資産
流動資産 91,107 内、在庫 43,653	流動負債 41,377 内、短期借入金 17,000
	固定負債 27,239 内、長期借入金 25,000
固定資産 104,987 内、有形固定資産 93,104	純資産 127,478 自己資本比率 65.0%
総資産 196,094	

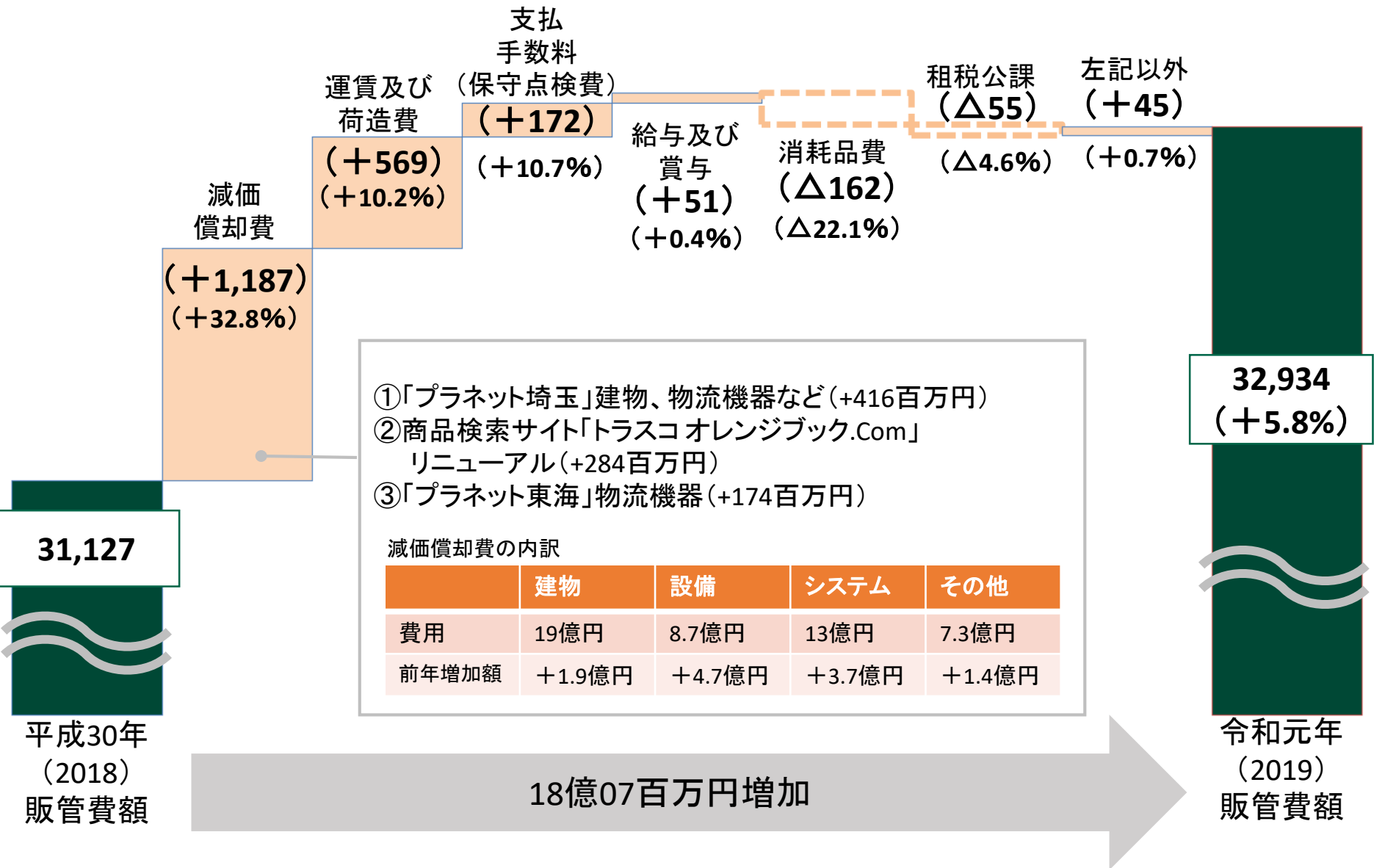
■キャッシュ・フロー計算書

単位:百万円

	当連結会計年度 (平成31年(2019)1月1日～ 令和元年(2019)12月31日)
営業活動によるキャッシュ・フロー	10,998
投資活動によるキャッシュ・フロー	△19,707
財務活動によるキャッシュ・フロー	14,558
現金及び現金同等物に係る換算差額	31
現金及び現金同等物の増減額(△は減少)	5,881
現金及び現金同等物の期首残高	12,448
現金及び現金同等物の期末残高	18,330

D-② 【親単体】販売費・一般管理費の主な増減内容

単位:百万円、()前年比



増減要因の詳細は次ページをご参照ください。

D-③ 販売費・一般管理費

ー【親単体】主な項目についてー
 () 前年比

■販売費及び一般管理費の詳細

単位: 百万円、%

		【連結】		【親単体】				
		令和元年（2019）		平成30年（2018）	令和元年（2019）		前年 増減額	前年比
		12月期		12月期	12月期			
		実績	率	実績	実績	率		
1	給 与 及 び 賞 与	12,434	5.6	12,284	12,335	5.6	51	+0.4
2	運 賃 及 び 荷 造 費	6,162	2.8	5,584	6,153	2.8	569	+10.2
3	減 価 償 却 費	4,876	2.2	3,614	4,801	2.2	1,187	+32.8
4	福 利 厚 生 費	2,324	1.1	2,222	2,298	1.0	76	+3.5
5	支 払 手 数 料	1,811	0.8	1,607	1,779	0.8	172	+10.7
6	租 税 公 課	1,153	0.5	1,206	1,151	0.5	△55	△ 4.6
7	広 告 宣 伝 費	655	0.3	646	655	0.3	8	+1.3
8	借 地 借 家 料	651	0.3	644	639	0.3	△5	△ 0.9
9	旅 費 及 び 交 通 費	593	0.3	574	587	0.3	13	+2.4
10	消 耗 品 費	582	0.3	738	575	0.3	△162	△ 22.1
11	役 員 報 酬	427	0.2	367	427	0.2	60	+16.5
12	水 道 光 熱 費	375	0.2	321	371	0.2	50	+15.6
13	通 信 費	365	0.2	341	361	0.2	20	+6.0
14	そ の 他	341	0.2	422	329	0.1	△92	△ 22.0
15	車 両 費	234	0.1	233	225	0.1	△7	△ 3.3
16	販 売 促 進 費	122	0.1	121	116	0.1	△5	△ 4.4
17	交 際 費	102	0.0	133	101	0.0	△31	△ 23.8
18	賞与引当金繰入額	21	0.0	62	21	0.0	△40	△ 66.1
計		33,237	15.1	31,127	32,934	14.9	1,807	+5.8

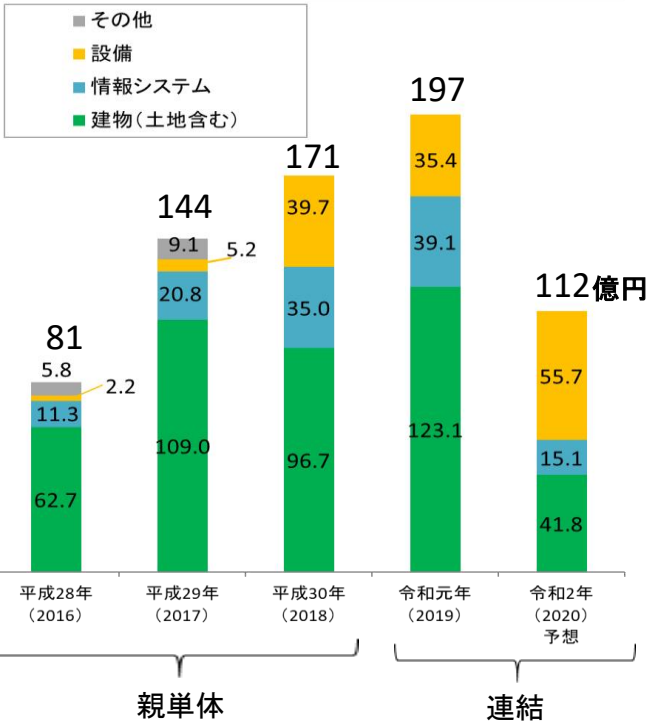
- ・社員+11名・パートタイマー+16名
- ・達成報奨金の当期支給が無い影響 (△226百万円)
- ・出荷量増加等による影響(約+350百万円)
路線便の出荷個数は10.7%増加
路線便出荷のうち、33%がユーザー様への出荷。ユーザー様の直送需要が高まっており、前年比13.8%増加している。
- ・路線便の運賃値上等による影響 (約+248百万円)
- ・備車(契約配達便)減便(△114百万円)
備車台数 210台 (△34台) 社内間輸送便35台含む
- 【参考】自社社員配達便 98台(+9台)
- ・システム関連保守点検費(+98百万円)
- ・物流設備関連保守点検費(+50百万円)
- ・社内PC関連費用(+49百万円)
- ・固定資産税
プラネット埼玉(+139百万円)
- ・不動産取得税
見積プラネット埼玉建物不動産取得税 (△186百万円)、見積プラネット北海道土地 不動産取得税(△17百万円)
- ・前期は「プラネット埼玉」の備品費用が発生していた影響(△180百万円)
- ・カタログ「2020年度版トラスコ オレンジブック」のサイズ変更[B5⇒A4]に伴う費用
レイアウト変更作業費用(+70百万円)
データ製作費用(+77百万円)
- ・トラスコ オレンジブック販促使用分費用の増加(+24百万円)
- ・前期のトラスコ デジタルオレンジブック英語 版製作費(△112百万円)

D-④ 【連結】設備投資等の状況

■主な設備投資の 実績と予定

主な設備投資 内訳		総投資 (予定)額	単位:億円	
			R1(2019) 12月期 実績	R2(2020) 12月期 予定
建物	ブラネット南関東 建替	87.4	48.8	12.4
	ブラネット東北 増築	40.8	23.3	8.7
	ブラネット北関東 増築	13.1	7.9	—
	トラスコナカヤマ インドネシア 新社屋	6.4	2.3	—
	豊橋ストックセンター テント倉庫	3.9	—	3.9
	大阪ストックセンター(仮称) 新築	10.0	—	3.0
	その他		28.4	8.8
	建物合計		110.8	36.9
設備	ブラネット埼玉 バトラー・オートストア	10.7	7.0	—
	ブラネット東北 バケット自動倉庫・SAS・GAS・オートストア・I-Pack・JFB・バトラー 等	30.8	—	30.7
	ブラネット南関東 バケット自動倉庫・シャトルラック・オートストア・DAS・電動パレットラック 等	21.0	—	21.0
	ブラネット東海 バケット自動倉庫・SAS・GAS	12.6	6.8	—
	ブラネット東関東 SAS・GAS・コンベア	8.9	3.9	—
	ブラネット神戸 バケット自動倉庫・SAS・GAS・電動パレットラック 等	8.6	8.1	—
	ブラネット北関東 パレット自動倉庫	1.9	1.3	—
	ブラネット滋賀 バケット自動倉庫・電動パレットラック 等	2.6	2.4	—
	ブラネット北関東 太陽光工事	1.2	—	1.2
	豊橋ストックセンター 固定棚	0.8	—	0.8
	その他		5.9	2.0
	設備合計		35.4	55.7
システム	パラダイス(受発注システム) リプレイス	33.7	19.2	2.9
	SORA、Self、Zaicon2 リプレイス	9.4	7.5	1.9
	トラロジス、フェニックス(物流管理システム) リプレイス	2.5	1.2	—
	トラスコ AIオレンジレスキュー (商品検索システム)	2.5	0.9	—
	開発費用・社外公開対応費用			
	ブラネットネットワーク 環境強化	3.0	—	3.0
	その他		10.3	7.3
	システム合計		39.1	15.1
土地	ブラネット愛知(北名古屋) 土地	18.2	2.3	—
	ブラネット東関東 隣地	6.5	6.5	—
	ブラネット大阪 近隣土地	5.5	0.5	4.9
	その他		3.0	—
	土地合計		12.4	4.9
年間設備投資金額			197.7	112.6

■設備投資額の推移 単位:億円



↑平成30年(2018)より「その他」に含めていた項目を
設備・情報システム・建物に振り分けています。

設備投資額に関して

- ・設備投資予定額には、計画中のものも含まれている為、投資金額は期中に変動する場合がございます。
- ・インドネシアルピアの為替レートは2019年末時点の0.0079円/IDRにて換算しています。

令和2年(2020)12月期の減価償却費は
65億円(前年比+17億円)を予定しております。

D-⑤ 継続中の主な設備投資

2019年度

プラネット北関東 竣工

2019年7月稼働



概要

- 住 所: 群馬県伊勢崎市
- 敷地面積10,000坪
- 延床面積(増築前) 4,702坪
(増築後) 7,695坪
(増築面積) 2,993坪
- 増築棟 6階建
- 投資予定総額: 13.1億円(建物・設備)
- 在庫アイテム数: 約14.2万アイテム
目標アイテム数: 23万アイテム
- 新規導入設備:
パレット自動倉庫(1,880パレット収納可)
危険物保管庫

2020年度

プラネット東北 増築

2020年5月稼働予定

2020年1月 完成



概要

- 住 所: 宮城県仙台市
- 敷地面積: 3,905坪
- 延床面積: 3,231坪(増築前)
8,587坪(増築後)
増築棟 6階建
- 投資予定総額: 約72億円
(建物・設備)
- 在庫アイテム数: 約10.7万アイテム
目標アイテム数: 50万アイテム
- 導入予定設備:
バケット自動倉庫／オートストア／
バトラー／SAS／GAS／I-Pack

プラネット南関東 建替え

2020年8月稼働予定

2020年1月 完成



概要

- 住 所: 神奈川県伊勢原市
- 敷地面積: 3,662坪
- 延床面積: 7,885.3坪
- 構 造: 地下1階(駐車場)、
地上4階建、免震構造
- 投資予定総額: 111億25百万円
(建物・設備)
- 在庫アイテム数: 11万アイテム
目標在庫アイテム数: 50万アイテム
- 導入予定設備:
バケット自動倉庫／オートストア／
SAS／ケースCV／電動パレットラック

E-① 経営計画

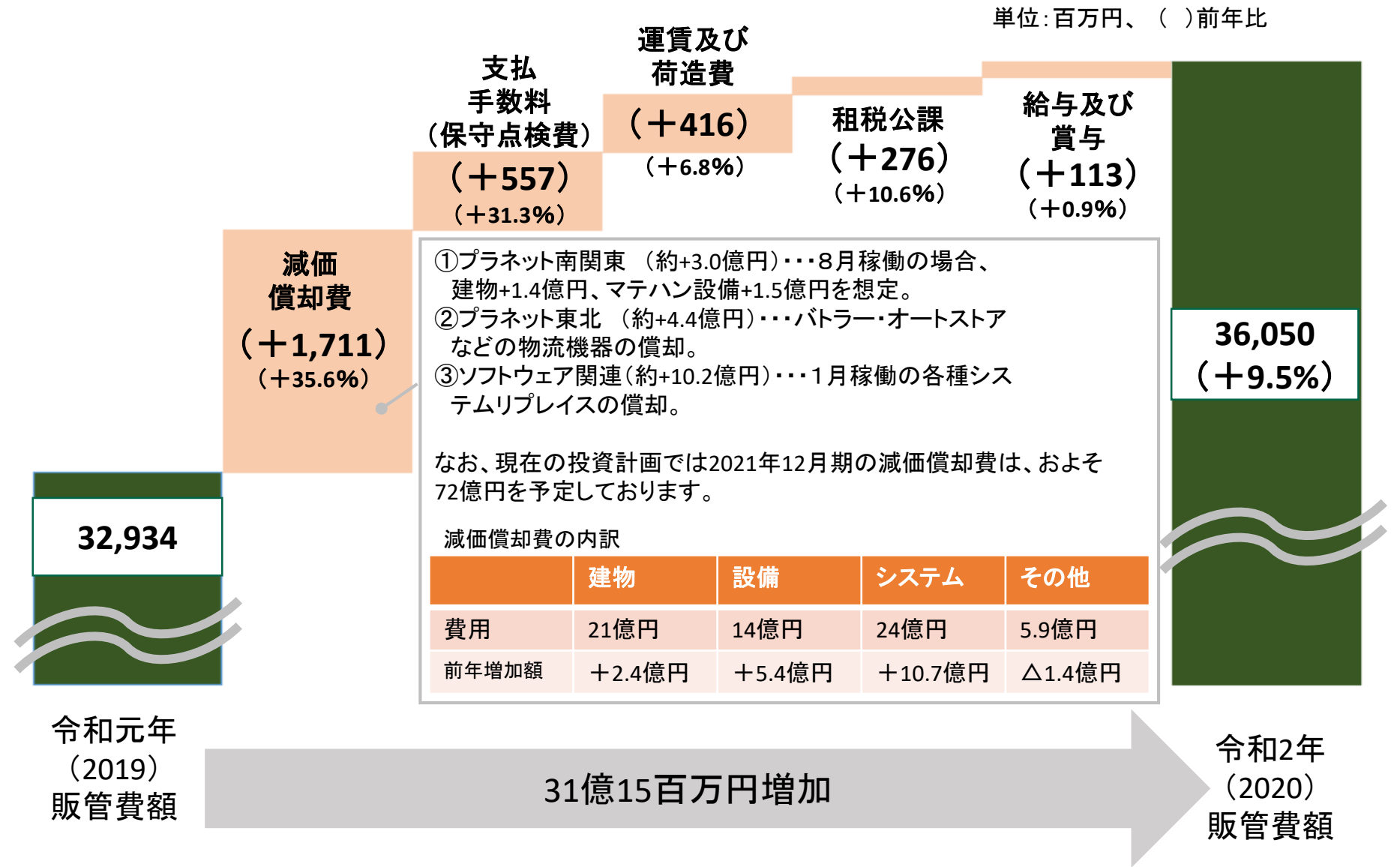
◆予算のたて方について

「全国の支店長が策定した支店年間予算」の合計を全社予算として採用しています。
 マーケットを熟知した支店長が、人員配置を含めた戦略を練り実行し、自身が最終責任をとるという意味で予算策定をしています。今後も支店長予算の集計が予算となるため、
 毎期計画の見直しが入ります。

	第57期 2019年12月期					第58期 2020年12月期					
	(連結) 実績 (百万円)	構成比 (%)	(単体) 実績 (百万円)	構成比 (%)	前期比 (%)	(連結) 計画 (百万円)	構成比 (%)	前期比 (%)	(単体) 計画 (百万円)	構成比 (%)	前期比 (%)
売 上 高	220,674	100.0	220,357	100.0	102.8	231,619	100.0	105.0	231,100	100.0	104.9
ファクトリールート	170,041	77.1	170,025	77.2	100.5	176,140	76.1	103.6	176,140	76.2	103.6
eビジネスルート	34,492	15.6	34,492	15.7	112.2	38,500	16.6	111.6	38,500	16.7	111.6
ホームセンタールート	14,703	6.7	14,702	6.7	109.2	15,300	6.6	104.1	15,300	6.6	104.1
海外ルート	1,437	0.6	1,137	0.4	118.0	1,679	0.7	116.8	1,160	0.5	102.0
1日当たり売上高	-	-	937	-	105.0	-	-	-	966	-	103.1
実働稼働日数	-	-	235日	-	△5日	-	-	-	239日	-	+4日
売上総利益	47,034	21.3	46,856	21.3	103.0	49,352	21.3	104.9	49,100	21.2	104.8
ファクトリールート	35,390	20.8	35,390	20.8	100.7	36,480	20.7	103.1	36,480	20.7	103.1
eビジネスルート	8,657	25.1	8,657	25.1	111.9	9,700	25.2	112.0	9,700	25.2	112.0
ホームセンタールート	2,577	17.5	2,577	17.5	107.1	2,690	17.6	104.4	2,690	17.6	104.4
海外ルート	409	28.5	230	20.3	118.7	482	28.7	117.8	230	19.8	100.0
販売費及び一般管理費	33,237	15.1	32,934	14.9	105.8	36,345	15.7	109.4	36,050	15.6	109.5
営業利益	13,797	6.3	13,921	6.3	96.9	13,007	5.6	94.3	13,050	5.6	93.7
経 常 利 益	14,197	6.4	14,302	6.5	97.7	13,257	5.7	93.4	13,300	5.8	93.0
当 期 純 利 益	9,613	4.4	9,715	4.4	99.9	9,012	3.9	93.7	9,044	3.9	93.1
1株当たり当期純利益	145円78銭	-	147円32銭	-	△12銭	136円66銭	-	△9円12銭	137円15銭	-	△10円17銭
1株当たり配当金	36円50銭	-	-	-	-	34円50銭	-	△2円	-	-	-
プライベート・ブランド商品売上高	-	-	43,890	19.9	100.7	-	-	-	46,300	20.0	105.5
ファクトリールート	-	-	34,012	20.0	99.5	-	-	-	35,340	20.1	103.9
eビジネスルート	-	-	8,600	24.9	105.6	-	-	-	9,600	24.9	111.6
ホームセンタールート	-	-	945	6.4	101.8	-	-	-	1,000	6.5	105.8
その他(海外)	-	-	333	29.3	101.5	-	-	-	360	31.0	108.1
PB商品粗利率	-	-	35.9	-	-	-	-	-	35.9	-	-
PB総アイテム数	59,500	-	-	-	-	67,000	-	112.6	-	-	-
商品在庫金額	43,653	-	42,781	-	115.6	48,809	-	111.8	-	-	-
社員数(役員含む)	1,656	-	-	-	-	1,695	-	102.4	-	-	-
パートタイマー人数	1,128	-	-	-	-	1,148	-	101.8	-	-	-
減価償却費	4,876	-	-	-	-	6,594	-	135.2	-	-	-

この経営計画は本資料作成時点での弊社の判断であり、その情報の正確性を保証するものではありません。様々な要因の変化により、実際の業績や結果とは異なる可能性があります。

参考資料①－【親単体】令和2年(2020)販売費・一般管理費の主な増加要因



参考資料②—【親単体】株式情報

■株式の情報

単位:名

	平成29年 (2017) 6月末	平成29年 (2017) 12月末	平成30年 (2018) 6月末	平成30年 (2018) 12月末	令和元年 (2019) 6月末	令和元年 (2019) 12月末
株主合計	14,497	25,365	16,719	29,997	19,776	40,106
単元株主	13,821	24,758	16,038	29,409	17,249	39,495
単元未満株主	676	607	681	588	691	611
金融機関・証券会社	73	71	66	63	73	61
国内法人	552	628	566	657	563	690
外国法人等	174	198	203	228	210	252
個人その他	13,698	24,468	15,884	29,049	18,930	39,103

■株式分割について

平成29年(2017)1月1日を効力発生日として、当社普通株式1株につき、2株の割合をもって株式分割を実施しました。

また、令和元年(2019)12月末で株主数が40,000人を突破いたしました。

■ROE推移

単位: %

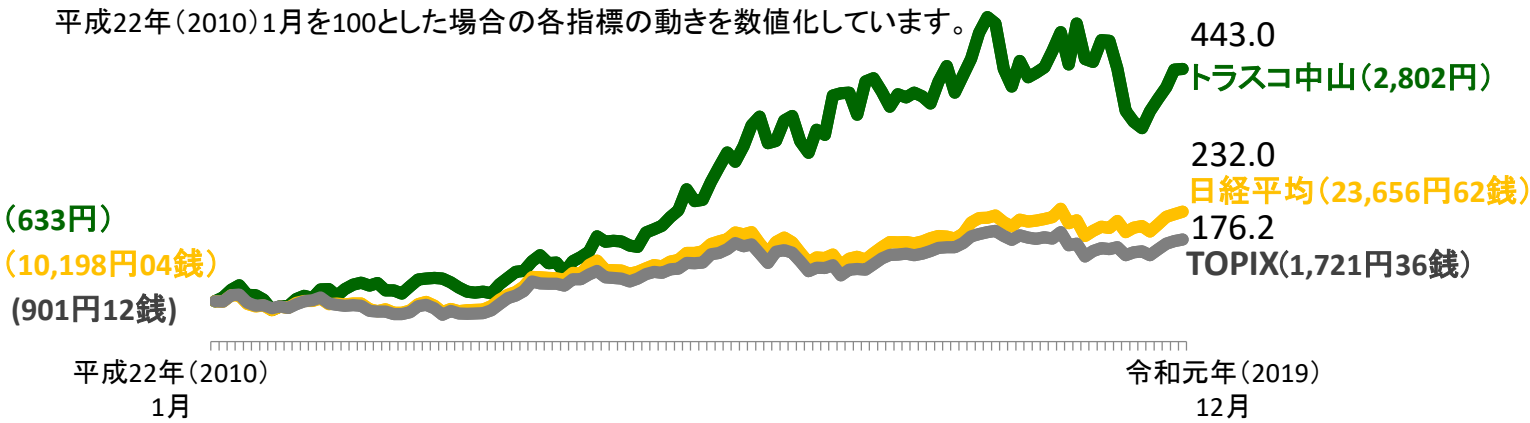
	平成28年 (2016)	平成29年 (2017)	平成30年 (2018)	令和元年 (2019)	令和2年 (2020) 予想
ROE	9.8	9.3	8.3	7.5	6.7

＜ROEに対する考え方＞

当社では、企業価値向上のための継続的な投資をすることで利益を拡大し、長期的かつ安定的に上昇させることが重要だと考えています。お客様の利便性向上を大切に、事業の結果としてROEが高まるというのが本来の姿であると考えています。

■10年間の株価指数の推移

平成22年(2010)1月を100とした場合の各指標の動きを数値化しています。



2020年2月7日(金)

当社株価 終値
2,609円

日経平均株価 終値
23,827円98銭

TOPIX 終値
1,732円14銭

参考資料③ー業界での指数比較

■同業界の商社、直販企業(上場企業)の業績

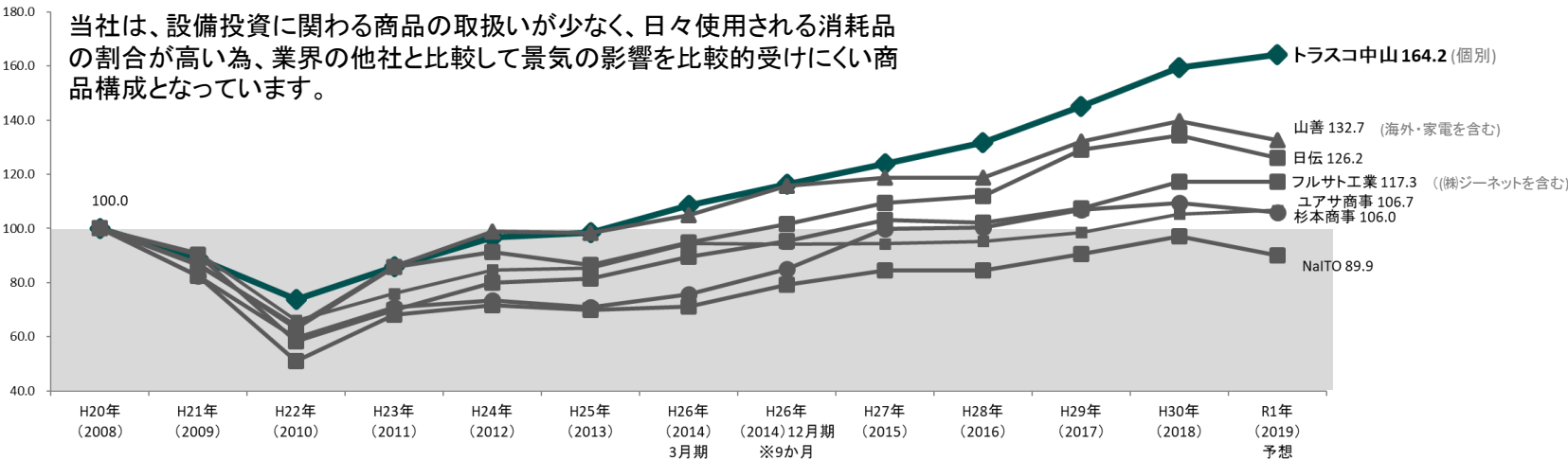
機械工具業界の商社には下記のような企業がございますが、卸売業・小売業で事業展開が異なり、それぞれ取扱う主力商品も異なっています。
当社は工作機械などの大型機械の取扱い無く、消耗品の取扱いが中心です。

卸売	単位:百万円、%、敬称略		
	令和2年(2020年) -予想-		
	決算月	売上高	前年比
(株)山善	3月	500,000	△ 5.0
ユアサ商事(株)	3月	500,000	+ 1.3
(株)日伝	3月	117,000	△ 6.1
フルサト工業(株)	3月	108,000	+ 0.1
(株)NaITO	2月	46,300	△ 7.4
杉本商事(株)	3月	43,950	△ 3.2
トラスコ中山(株)	12月	220,674	-
7社合計		1,535,924	△ 1.7

小売	単位:百万円、%、敬称略		
	令和2年(2020) -予想-		
	決算月	売上高	前年比
(株)ミスミグループ	3月	326,500	△ 1.6
(株)MonotaRO	12月	131,463	+ 20.0

※連結決算を発表している会社は連結決算の数値を記載しています。
※各数値は令和2年(2020)2月5日時点で公表されている実績及び予想を記載しています。
※(株)MonotaRO、及びトラスコ中山(株)は12月決算のため、2019年度の実績数値を掲載しています。
※当社は令和元年(2019)12月期より連結決算にて開示を行うため、前年比なしにて掲載しております。

■同業界の商社との売上高指数比較 (％)



※指数基準:平成20年(2008)を100とする。平成20年3月期は当社売上高1,344億円とリーマンショック前の過去最高額を記録した年です。
※令和元年(2020)2月5日現在公開のデータをもとに経営企画・広報IR課にて算出した数値です。
※平成26年12月期のトラスコ中山指数は、決算期変更により9か月の変則決算であったため、12か月に換算した売上高1,563億円をもとに計算した参考値です。

参考資料④ー【連結】 四半期毎の実績

令和元年(2019)12月期【累計】

単位:百万円

	第1四半期				第2四半期				第3四半期				通 期			
	実績				実績				実績				実績			
	本社	タイ	インドネシア	計	本社	タイ	インドネシア	計	本社	タイ	インドネシア	計	本社	タイ	インドネシア	計
売上高	55,682	194	60	55,781	109,396	376	109	109,566	164,205	569	180	164,426	220,357	752	259	220,674
売上総利益	11,931	48	16	11,996	23,622	92	29	23,737	34,855	139	46	35,025	46,856	180	64	47,034
販売費及び一般管理費	8,308	34	28	8,381	16,637	67	70	16,776	24,854	106	103	25,064	32,934	157	144	33,237
営業利益	3,622	14	△ 12	3,614	6,984	25	△ 41	6,960	10,001	33	△ 57	9,961	13,921	22	△ 80	13,797
経常利益	3,677	14	△ 13	3,672	7,121	25	△ 43	7,102	10,220	33	△ 59	10,179	14,302	23	△ 83	14,197
親会社株主に帰属する当期（四半期）純利益	2,515	14	△ 13	2,505	4,831	25	△ 43	4,807	6,919	33	△ 59	6,875	9,715	23	△ 83	9,613

実績の合計は連結調整仕訳(親子会社間の内部取引の消去等)を考慮した金額

参考資料⑤－【親単体】四半期毎の実績

■令和元年(2019) 12月期【四半期】

単位:百万円、%

	第1四半期 (△1日)			第2四半期 (△3日)			第3四半期 (±0日)			第4四半期 (△1日)		
	実績	構成比	前年同期比	実績	構成比	前年同期比	実績	構成比	前年同期比	実績	構成比	前年同期比
売上高	55,682	100.0	+5.2	53,713	100.0	+ 3.4	54,808	100.0	+ 5.6	56,152	100.0	△ 2.4
売上総利益	11,931	21.4	+5.4	11,690	21.8	+ 2.6	11,232	20.5	+ 6.4	12,000	21.4	△ 1.8
販売費及び一般管理費	8,308	14.9	+11.2	8,328	15.5	+ 0.6	8,216	15.0	+ 5.9	8,080	14.4	+ 6.1
営業利益	3,622	6.5	△6.0	3,362	6.3	+ 8.0	3,016	5.5	+ 8.0	3,920	7.0	△ 14.8
営業外収益	553	1.0	+6.2	584	1.1	+ 2.1	589	1.1	+ 2.2	672	1.2	+ 12.6
営業外費用	498	0.9	+4.8	502	0.9	+ 1.1	506	0.9	+ 1.5	509	0.9	△ 1.4
経常利益	3,677	6.6	△5.7	3,443	6.4	+ 8.0	3,098	5.7	+ 8.0	4,082	7.3	△ 12.8
特別利益	-	-	-	14	-	-	-	-	-	-	-	-
特別損失	-	-	△100.0	-	-	-	26	-	-	-	-	-
当期純利益	2,515	4.5	△4.7	2,316	4.3	+ 8.3	2,087	3.8	+ 7.2	2,795	5.0	△ 6.7
P B	11,202	20.1	+4.4	11,028	20.5	+ 1.7	10,997	20.1	+ 1.8	10,661	19.0	△ 4.8

■令和元年(2019) 12月期【累計】

単位:百万円、%

	第1四半期 (△1日)			第2四半期 (△4日)			第3四半期 (△4日)			通 期 (△5日)		
	実績	構成比	前年同期比	実績	構成比	前年同期比	実績	構成比	前年同期比	実績	構成比	前年比
売上高	55,682	100.0	+5.2	109,396	100.0	+4.3	164,205	100.0	+4.7	220,357	100.0	+2.8
売上総利益	11,931	21.4	+5.4	23,622	21.6	+4.0	34,855	21.2	+4.7	46,856	21.3	+3.0
販売費及び一般管理費	8,308	14.9	+11.2	16,637	15.2	+5.6	24,854	15.1	+5.7	32,934	14.9	+5.8
営業利益	3,622	6.5	△6.0	6,984	6.4	+0.2	10,001	6.1	+2.5	13,921	6.3	△3.1
営業外収益	553	1.0	+6.2	1,137	1.0	+4.0	1,726	1.1	+3.4	2,398	1.1	+5.8
営業外費用	498	0.9	+4.8	1,000	0.9	+2.9	1,507	0.9	+2.4	2,017	0.9	+1.4
経常利益	3,677	6.6	△5.7	7,121	6.5	+0.4	10,220	6.2	+2.6	14,302	6.5	△2.3
特別利益	-	-	-	14	-	-	14	-	-	14	-	-
特別損失	-	-	△100.0	-	-	△100.0	26	-	△4.4	26	-	△90.9
当期純利益	2,515	4.5	△4.7	4,831	4.4	+1.1	6,919	4.2	+2.9	9,715	4.4	△0.1
P B	11,202	20.1	+4.4	22,231	20.3	+3.0	33,229	20.2	+2.6	43,890	19.9	+0.7

参考資料⑥－【連結】令和2年(2020)12月期 四半期毎の予算

令和2年(2020)12月期より四半期毎の予算及び実績は連結の数値を開示いたします。

■令和2年(2020) 12月期【四半期】

単位:百万円、%

	第1四半期 (+1日)			第2四半期 (+2日)			第3四半期 (+1日)			第4四半期 (±0日)		
	予算	構成比	前年同期比	予算	構成比	前年同期比	予算	構成比	前年同期比	予算	構成比	前年同期比
売上高	56,960	100.0	+2.1	57,114	100.0	+ 6.2	57,482	100.0	+ 4.8	60,063	100.0	+ 6.8
売上総利益	12,258	21.5	+2.2	12,485	21.9	+ 6.3	11,765	20.5	+ 4.2	12,844	21.4	+ 7.0
販売費及び一般管理費	9,209	16.2	+9.9	8,899	15.6	+ 6.0	9,061	15.8	+ 9.3	9,176	15.3	+12.3
営業利益	3,048	5.4	△15.7	3,587	6.3	+ 7.2	2,703	4.7	△ 9.9	3,669	6.1	△ 4.4
経常利益	3,110	5.5	△15.3	3,648	6.4	+ 6.4	2,764	4.8	△10.2	3,735	6.2	△ 7.1
当期純利益	2,117	3.7	△15.5	2,478	4.3	+ 7.7	1,877	3.3	△ 9.2	2,540	4.2	△ 7.2

■令和2年(2020) 12月期【累計】

単位:百万円、%

	第1四半期 (+1日)			第2四半期 (+3日)			第3四半期 (+4日)			通 期 (+4日)		
	予算	構成比	前年同期比	予算	構成比	前年同期比	予算	構成比	前年同期比	予算	構成比	前年比
売上高	56,960	100.0	+2.1	114,074	100.0	+4.1	171,556	100.0	+4.3	231,619	100.0	+5.0
売上総利益	12,258	21.5	+2.2	24,743	21.7	+4.2	36,508	21.3	+4.2	49,352	21.3	+4.9
販売費及び一般管理費	9,209	16.2	+9.9	18,108	15.9	+7.9	27,169	15.8	+8.4	36,345	15.7	+9.4
営業利益	3,048	5.4	△15.7	6,635	5.8	△4.7	9,338	5.4	△6.3	13,007	5.6	△5.7
経常利益	3,110	5.5	△15.3	6,758	5.9	△4.8	9,522	5.6	△6.5	13,257	5.7	△6.6
当期純利益	2,117	3.7	△15.5	4,595	4.0	△4.4	6,472	3.8	△5.9	9,012	3.9	△6.3

参考資料⑦－会社データ

■社員数【連結】 令和元年(2019)12月末現在 単位:人

	女	男	合計	前年比
役員	0	12	12	+4
執行役員	0	2	2	△5
キャリア	180	423	603	+13
エリア	265	314	579	△1
サポート	26	3	29	△2
スペシャリスト	16	16	32	△3
ロジス	75	262	337	+5
契約社員	1	29	30	+4
現地法人	21	21	42	+4
健康保険組合出向者	1	1	2	+2
中山財団出向者	0	0	0	△1
社員計	585	1,071	1,656	+16
パート	845	283	1,128	+17
従業員計	1,430	1,366	2,796	+37

女性社員比率35.3%／女性セールス87人／
女性キャリア比率30.7%(男性39.5%) ※パートタイマーの人数は実際の雇用人数

■平均年齢・年収【親単体】 単位:歳、万円

	平均年齢			平均年収		
	女	男	全体	キャリア	エリア	全体
令和元年(2019)	31.3	42	38.2	758	642	655
平成30年(2018)	30.9	42.1	38.2	804	680	701
平成29年(2017)	30.7	42.7	38.6	805	696	715
平成28年(2016)	30.6	43.5	39.3	757	651	674
平成27年(2015)	30.9	43.3	39.6	727	630	660

※全体平均年収は執行役員を含み、退職金「ファイナンシャルボンド」を除く金額
※平成26年度より業績運動型賞与を支給開始。

■入社者数および退職者数 ※パートタイマー除く 単位:人、%

	平成27年(2015)		平成28年(2016)		平成29年(2017)		平成30年(2018)		令和元年(2019)	
	女	男	女	男	女	男	女	男	女	男
社員数	404	945	512	959	510	1,004	557	1,051	585	1,071
	1,349		1,471		1,514		1,608		1,656	
入社者	38	56	70	33	59	67	63	72	52	57
	94		103		126		135		109	
退職者	8	24	20	18	18	18	20	26	42	44
	32		38		36		46		86	
離職率	1.9	2.5	3.8	1.8	3.4	1.8	3.5	2.4	6.7	3.9
	2.3		2.5		2.3		2.8		4.9	

■拠点数【連結】 令和元年(2019)12月末現在

本社	2か所
支店	69か所
物流センター	26か所
海外拠点	3か所
合計	100か所

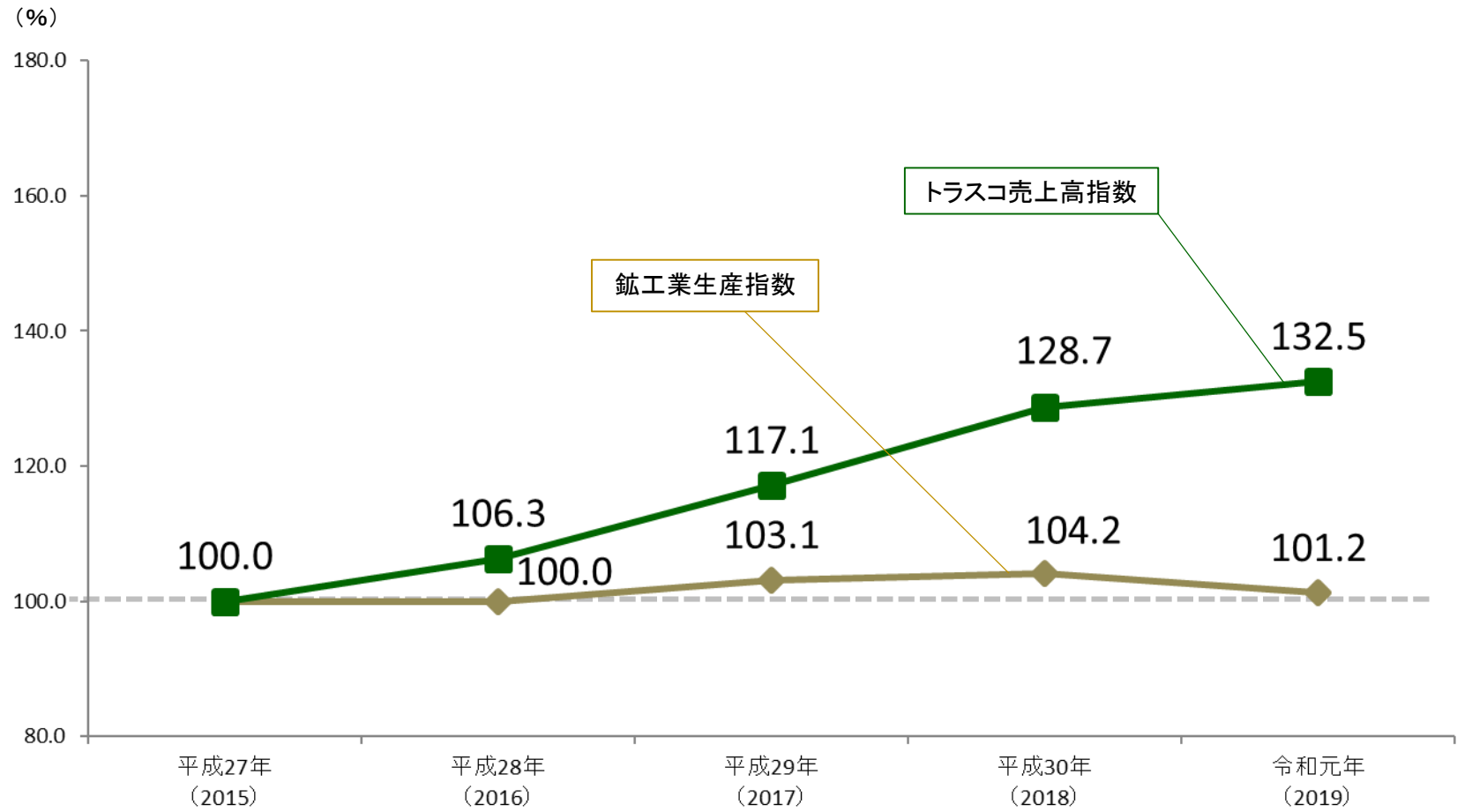
■倒産による回収不能金額 単位:万円

	平成26年(2014)12月期	平成27年(2015)	平成28年(2016)	平成29年(2017)	平成30年(2018)	令和元年(2019)
回収不能金額(万円)	0	0	35	0	4	0

■在庫廃棄金額及び在庫金額の推移

	平成27年(2015)	平成28年(2016)	平成29年(2017)	平成30年(2018)	令和元年(2019)
廃棄金額(百万円)	50	32	41	39	42
在庫金額(億円)	250	290	318	370	427
廃棄率(%)	0.20	0.11	0.13	0.11	0.10

■当社売上高指数及び鉱工業生産指数の推移



※指数基準:平成27年(2015)を100とする
※鉱工業生産指数は令和2年(2020)1月31日に経済産業省より公表された数値

10/2 2019年度 グッドデザイン賞受賞

大・中・小のサイズや色の組み合わせによって簡易なコミュニケーションツールとして活用できる、プライベート・ブランド商品の「三角ポストコーン」がグッドデザイン賞を受賞しました。工場などの作業現場では外国人労働者の割合が増えてきていますが、慣れるまでは意思疎通が円滑に取れない場合があります。

複雑な筆記や追加工を必要とせず、例えば不具合は「赤」、修正済み「黄」、検査済み「青」のように簡単に状態を伝えるなど「単純ではあるが、言語や文化に依存した方法を用いずに多様な情報を伝えることができる製品となっている」と評価いただきました。



▲品番:3PC(サイズS/M/L)-(色B/R/Y)
重ねて使用も可能。

11/14 2020年版 トラスコ オレンジブック 各種カタログ 発刊

モノづくり大辞典 トラスコ オレンジブックなど2020年版のカタログが発刊されました。2020年版のトラスコ オレンジブックより、カタログサイズをB5からA4へ変更し、1ページ当たりの掲載アイテム数を増やすことができたため、掲載アイテム数は大幅に増加させながらも一冊当たりの横幅をスリムに抑えることができました。

- ・掲載メーカー数 1,776社(+57社)
- ・掲載商品数 約440,000アイテム(+39,000)
- ・在庫商品数 約383,000アイテム(+18,000)
- ・即納率 87%
- ・ページ数 16,728ページ(△2,172ページ)
- ・発刊部数 21万部

()内、前年比

付属の「プロツールマガジンイテオシ」の表紙は ▶ ロンドンオリンピックに出場した 元体操選手の田中理恵さん



11/15~18 あいち技能五輪・アビリンピック開催



- ▲大会イメージキャクター「アイチータ」
- ▲開会式

国内の青年技術者の技能レベルを競う「第57回技能五輪全国大会」と、障がいのある方々が日々職場などで培った技能を競う「第39回全国アビリンピック」が愛知県で開催されました。平成22年(2010)より、モノづくりの大切さや素晴らしさを広く伝えることを目的に、この大会への協賛を続けています。

12/9 販売店様向けコミュニケーションツール 「T-Rate(トレイト)リリース」

販売店様と当社をつなぐ新しいサービスとして「T-Rate(トレイト)」を配信しました。スマートフォンなどにアプリをダウンロードしていただくと3つの機能を利用することができ、より密なコミュニケーションを取ることが可能となりました。

- (1)チャット機能
言葉で伝えづらいときは写真を送付して伝えることができます。
- (2)配送状況確認機能
注文した商品の配送状況を確認できます。
- (3)タイムライン機能
新商品などの情報をお届けします。

配送状況確認画面▶

